令和4年度学校図書館活用推進校
実践報告

新潟市立鳥屋野中学校

1

鳥屋野中学校図書館概要（R4）

生徒数　７８８人（5/1現在）

普通学級２４クラス　特別支援学級２クラス

蔵書数（R３年度末）１６，９８３冊

図書標準達成率　１０５%

一人あたりの貸出冊数（R３年度末）　１２.５冊

2

本校の図書館活用3つの柱

読書センター

学習センター

情報センター

3

読書センター

読書への興味喚起のための
委員会活動

・ライブラリータイム（週１回）
・移動図書館
・シリーズ本ビンゴ
・ビブリオバトル
・ライブラリーニュース発行
・新着本の動画紹介（月１回）

教室の大型モニターに映しての動画紹介は、新潟市教育委員会が授業目的公衆送信補償金等管理協会に支払いをしているため、著作権についてはクリアしているそうです。（確認済み）

4

学習センター

音楽家について調べよう

１年英語
「理想のロボットを紹介しよう

～勝手にタイアップ企画～

授業で学習している内容に合わせて
関連本の特設コーナーを作る

１年地理
世界の国々

２年総合
職業調べ

３年国語
「論語」

授業者からの依頼があれば…

ブックトラックごと教室棟に運んで利用してもらったり、廊下に置いて手に取りやすいように工夫したり、活用範囲が広がりました。

３年国語スピーチ

材料集めのための資料となるSDGs関連の書籍や新聞をたくさん準備してもらいました。

依頼がなくても草の根活動

１年総合「とやの2km」に活用できないかと「勝手にタイアップ」で新聞記事集めをして担当者に渡したり、職員研修の際、教材研究での活用を呼びかけたり、図書館の可能性をPRしました。

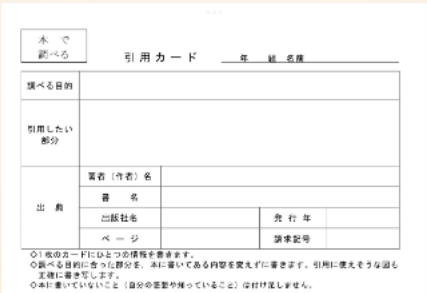
情報センター

１年地理
レポート作成の資料集め

利用した資料の記録用に、学校図書館支援センター配布の引用カードを使いました。
事前に記入の仕方について説明する時間をとれなかったため、記入方法について戸惑っている生徒の姿が見受けられました。

引用カード

どうやって
書いたらいいの？
どこまで
書いたらいいの？



本で調べる　引用カード　年　組　名様

調べる目的			
引用したい部分			
出典	筆者（作者）名		
	書名		
	出版社名	発行年	
	ページ	請求記号	

◇1枚のカードにひとつの情報を書きます。
◇調べる目的に合った部分を、本に書いてある内容を変えずに書きます。引用に使えそうな箇所を正確に書き写します。
◇本に書いていないこと（自分の感想や考えていること）は付け足しません。

使い方についての
説明が必要
でも、
時間がとれない…

小中で同じ様式の
カードを使ってみよう！

⭐小中連携①

夏休みに行われた鳥屋野中学校区３校合同研修会において

図書館部会を設けてもらい、連携事業について協議しました。

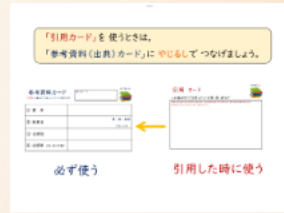
⭐小中連携

①参考資料（出典）カードの共通化

（上所小・菅司書作成のものを中学校用にアレンジして使用）

→記入のための説明時間が短縮され、活用しやすくなるのではないか。

②冬休み前の読書啓発事業の合同開催



２年社会　中部地方レポート作成

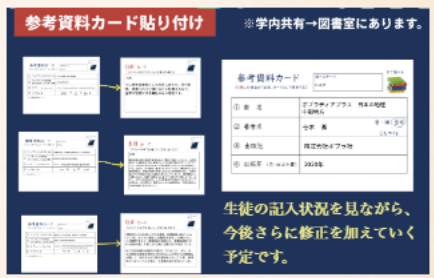
参考資料カード
（引用した場合は「出典」カードとして使用する）

調べるテーマ　本で調べる

① 書　名	
② 著者名	著・編・監修 ○をつける
③ 出版社	
④ 出版年（月・日は不要）	

図書館に置いておく紙タイプのもののほかに、デジタル版をロイロノートの資料箱に入れて、使いやすいようにしました。

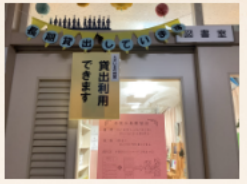
前回質問された内容をもとに、参考資料（出典）カードを工夫したことにより、生徒からの質問は減り、活用が促進されました。



生徒の記入状況を見ながら、
今後さらに修正を加えていく
予定です。

⭐小中連携②

小中連携事業としての
冬休みの「うちどく」推進
・ポスター配布（中学生作成）



中学校では、
保護者会に合わせて
図書館の保護者開放をしました。

４名の保護者がポスターを見て立ち寄ってくださり、２名の貸出利用がありました。

まとめ

読書センターとして

・iPadによって多くのアイディアがうまれ、図書委員自らがiPadを駆使して動画作成やポスター作成をするなど、読書啓発活動をすることができた。

学習センターとして

・教職員に図書館でできることを提案し、気軽に活用してもらえるようPRを続けたことで、教職員から司書教諭への相談が増えた。活用の仕方のアイディアとともに提案を続けることが必要である。

情報センターとして

・iPadで容易にネット検索ができるようになった分、情報の引用の仕方はもちろんのこと、膨大な情報の中から信頼性の高い情報を選ぶ力も求められる。今年度を皮切りに参考資料（出典）カードを小中通じて活用することが常態化し、生徒の情報との付き合い方が変化していくことを期待する。